

5216A 52ロードマチックスペシャル

1) 仕様

機械落径 25.60mmφ
 機械厚ミ 4.23mm
 テンプ振動数 28,800回/時
 自動巻（手巻装置付）
 カレンダー 日付・曜日・
 曜文字・和英切換機構・
 リュウズ回転式日曜修正
 秒針規正装置
 微動緩急装置 アオリ調整装置

2) 特長

52ロードマチックスペシャルのうす型ムーブメントの特長の生かし、分解修理あるいは取扱いの容易性を考慮し設計された高精度の時計です。

従来の52ロードマチックと異なる主な点は次の通りです。

1. 日曜修正の不能区間をなくしました。
2. 瞬間日・曜送り機構をなくして、カレンダー機構を簡単にしました。






3) 分解・組立

分解は図番号の①→⑥の順に、組立は⑥→①の順におこなってください。




4) 注油

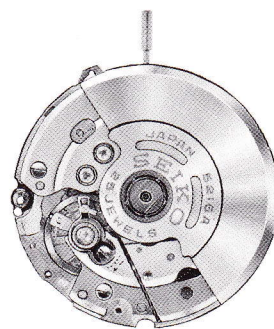
図中でつぎの記号は、油の種類・量・注油箇所を示します。

●種類

-  メービスV
-  メービスA
-  セイコーウォッチ油S-6
-  セイコーウォッチ油S-4
-  セイコーウォッチ油S-3

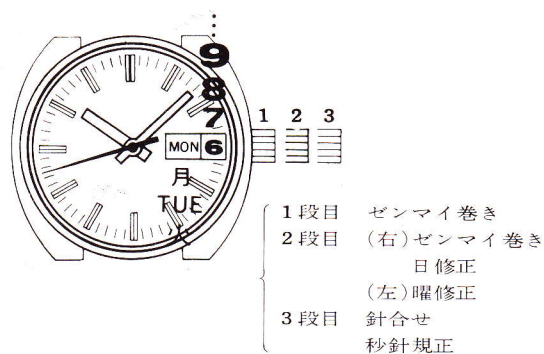
●注油量

-  多めに
-  標準量
-  極く少量



ムーブメント裏
(曜車ナシ)

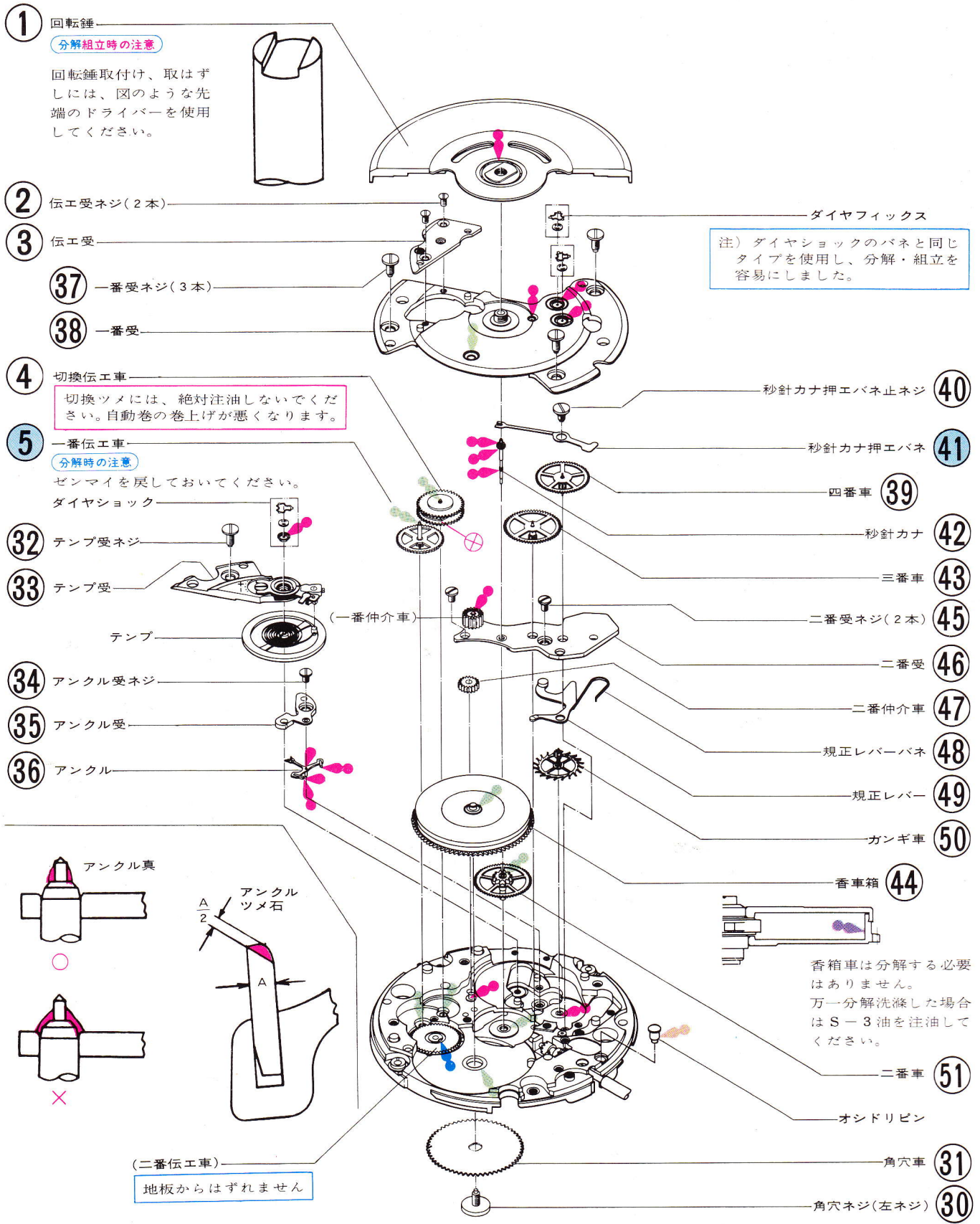
取扱説明



52ロードマチックスペシャルと参照技術解説書の関係

略称	キャリバーNo.	主な相違点
52 L M W	5206 A	技術解説書 5206 Aのページを 参照してください。
52 K C M	5245 A	
52 K A W	5246 A	
52 K W M		
52 L W L	5216 A	技術解説書 5216 Aを参照して ください。
52 K W L	5256 A	

5216A 自動巻機構・表輪列



1 回転錘
分解組立時の注意
 回転錘取付け、取はずしには、図のような先端のドライバーを使用してください。

2 伝工受ネジ(2本)

3 伝工受

37 一番受ネジ(3本)

38 一番受

4 切換伝工車
切換ツメには、絶対注油しないでください。自動巻の巻上げが悪くなります。

5 一番伝工車
分解時の注意
 ゼンマイを戻しておいてください。
 ダイヤショック

32 テンプ受ネジ

33 テンプ受

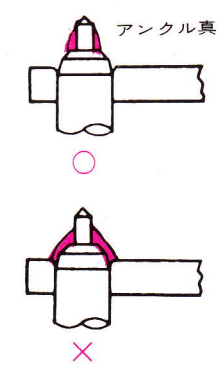
テンプ

(一番仲介車)

34 アンクル受ネジ

35 アンクル受

36 アンクル



(二番伝工車)
地板からはずれません

ダイヤフィックス
注) ダイヤショックのパネと同じタイプを使用し、分解・組立を容易にしました。

秒針カナ押エバネ止ネジ **40**

秒針カナ押エバネ **41**

四番車 **39**

秒針カナ **42**

三番車 **43**

二番受ネジ(2本) **45**

二番受 **46**

二番仲介車 **47**

規正レバーバネ **48**

規正レバー **49**

ガンギ車 **50**

香箱車 **44**

香箱車は分解する必要はありません。
 万一分解洗滌した場合はS-3油を注油してください。

二番車 **51**

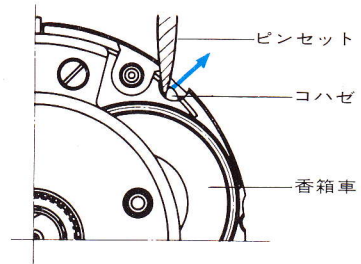
オンドリピン

角穴車 **31**

角穴ネジ(左ネジ) **30**

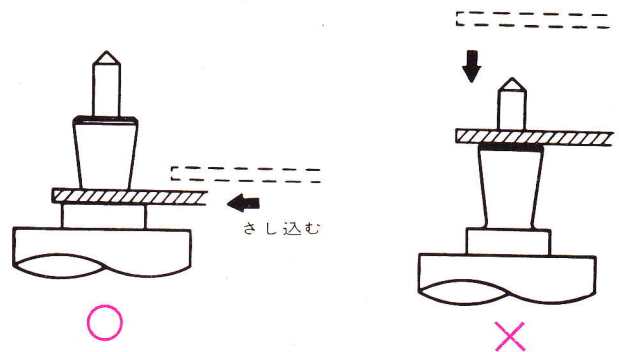
⑤ゼンマイの戻し方

1番伝エ車をはずした場合は、必ずゼンマイをほどいておきます。ほどき方は、図のようにピンセットでコハゼを矢印方向に寄せて静かにリュウズを戻しながらゼンマイをほどきます。

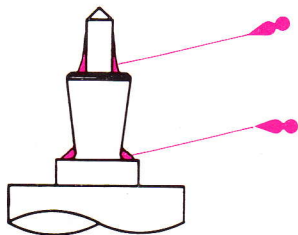


④1秒針カナ押エバネの組み方

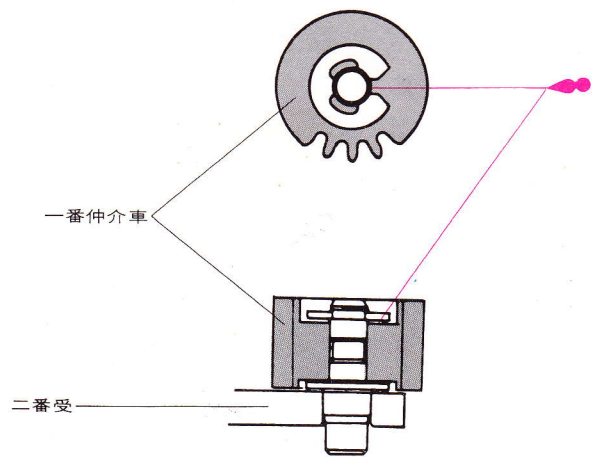
秒針カナの上方から組み込みますと、秒針カナ押エバネがホゾ部に当り、正しく取り付けられませんので注意し、取り付け後、図の正しい位置にあるか、確認してください。



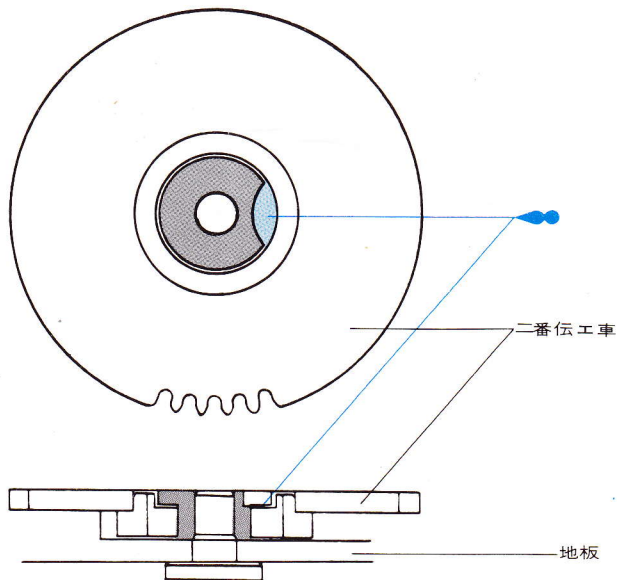
・秒針カナ頭部への注油



・二番伝エ車への注油



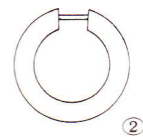
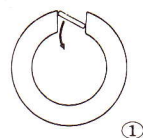
・二番伝エ車への注油



5216A カレンダー機構

分解時の注意

①→②のようにしてミゾを拡げ、ドライバーを持ち上げれば抜きとることができます。
 注：ドライバーをまわす時、曜車を削らないよう注意してください。



⑥ 曜車押エ

⑦ 曜車

⑩ 日車押エ止ネジ(金色)

⑩ 日車押エ止ネジ

⑪ 日車押エ

曜躍制レバー止ネジ(金色) ⑧

曜躍制レバー止ネジ ⑧

曜躍制レバー ⑨

分解組立時の注意

バネ部を変形させないように注意してください。

⑫ 日車

⑬ 日送車止ネジ

⑭ 曜送ツメ座

⑮ 曜送ツメ

⑯ 日送ツメ

⑰ 中間車

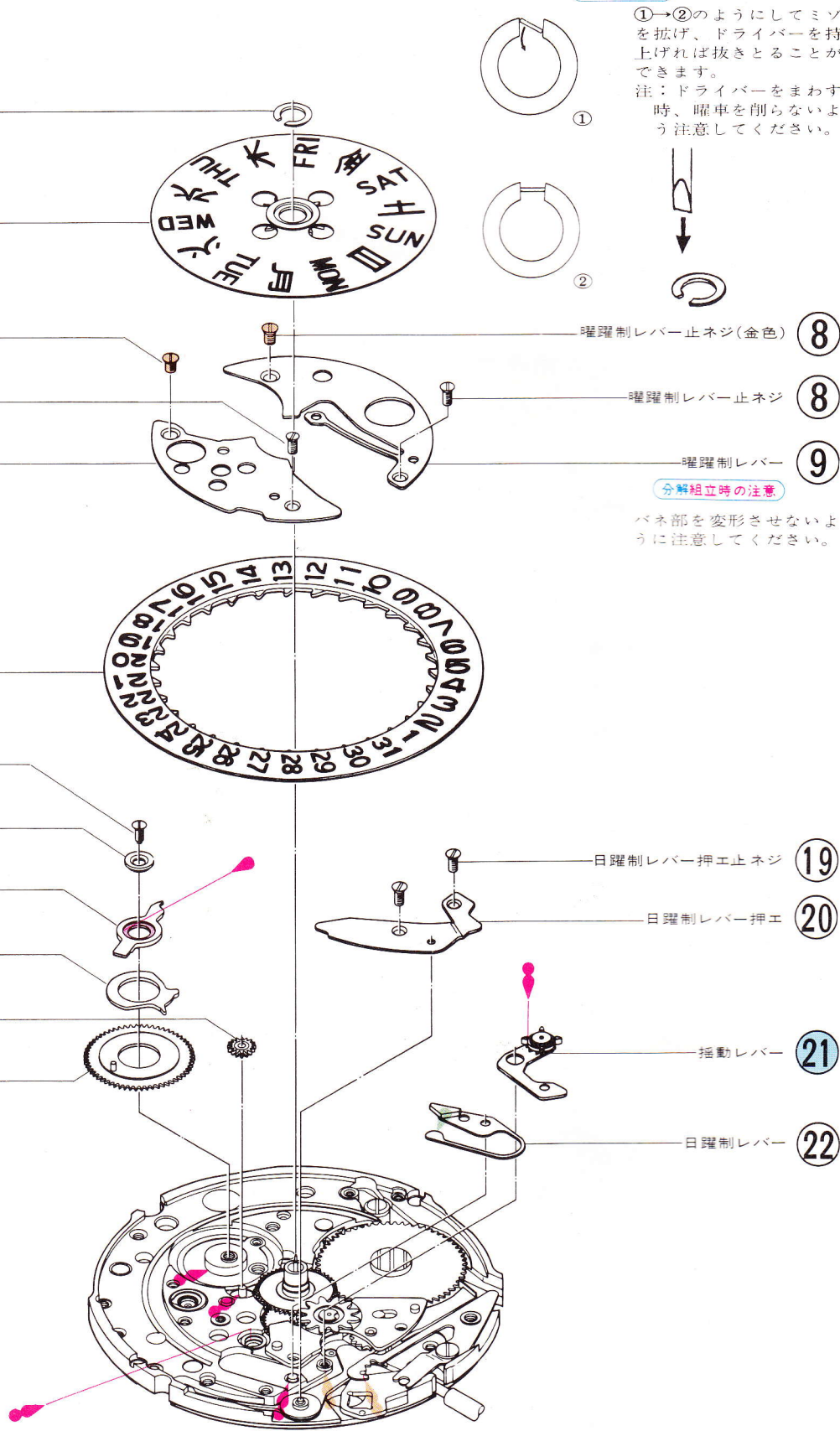
⑱ 日送車

日躍制レバー押エ止ネジ ⑲

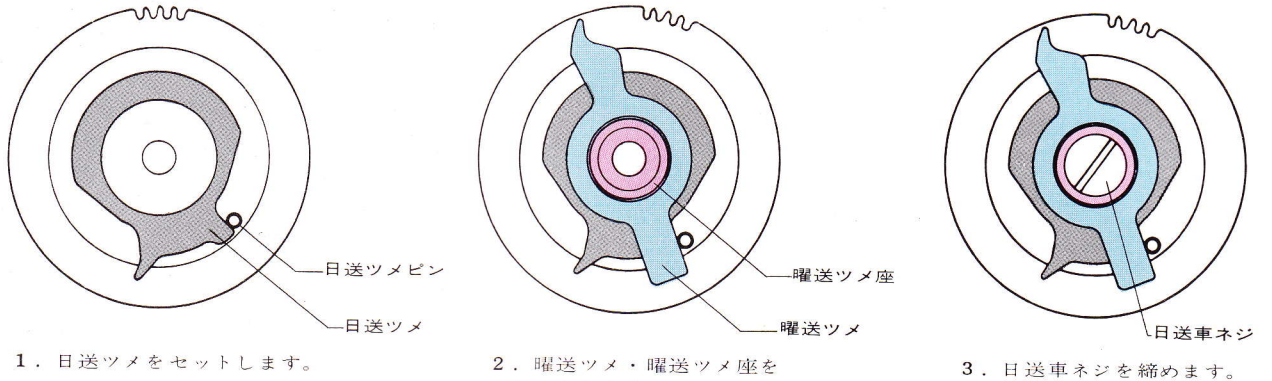
日躍制レバー押エ ⑳

揺動レバー ㉑

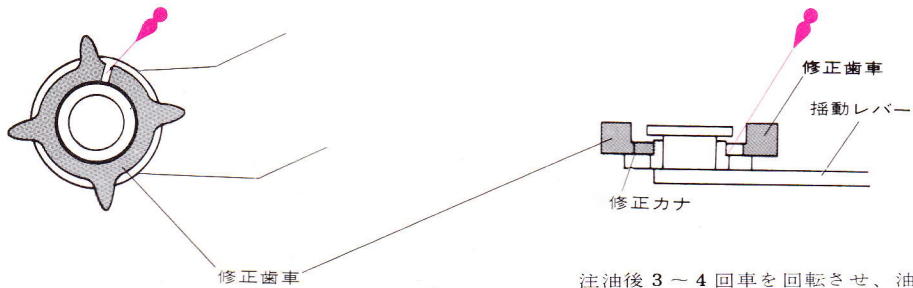
日躍制レバー ㉒



⑬・⑭・⑮・⑯・⑰・⑱日・曜送ツメの組込方

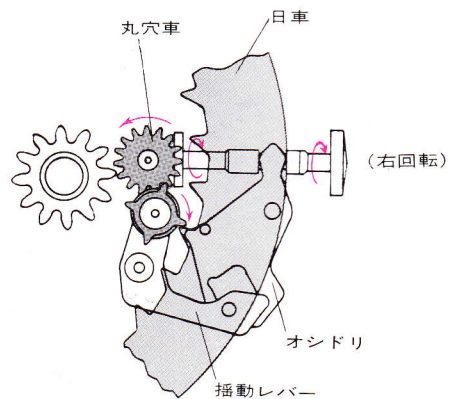
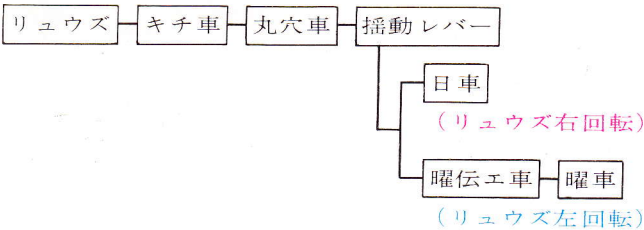


⑳揺動レバーの注油



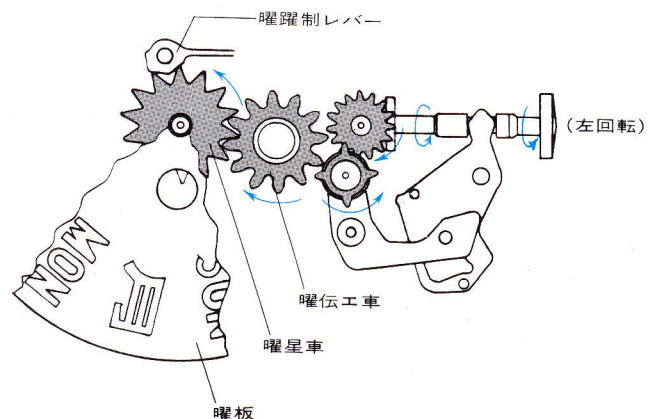
注油後 3～4 回車を回転させ、油が軸にゆきわたるようにしてください。

日付・曜日の修正機構 (リュウズ 2 段目)

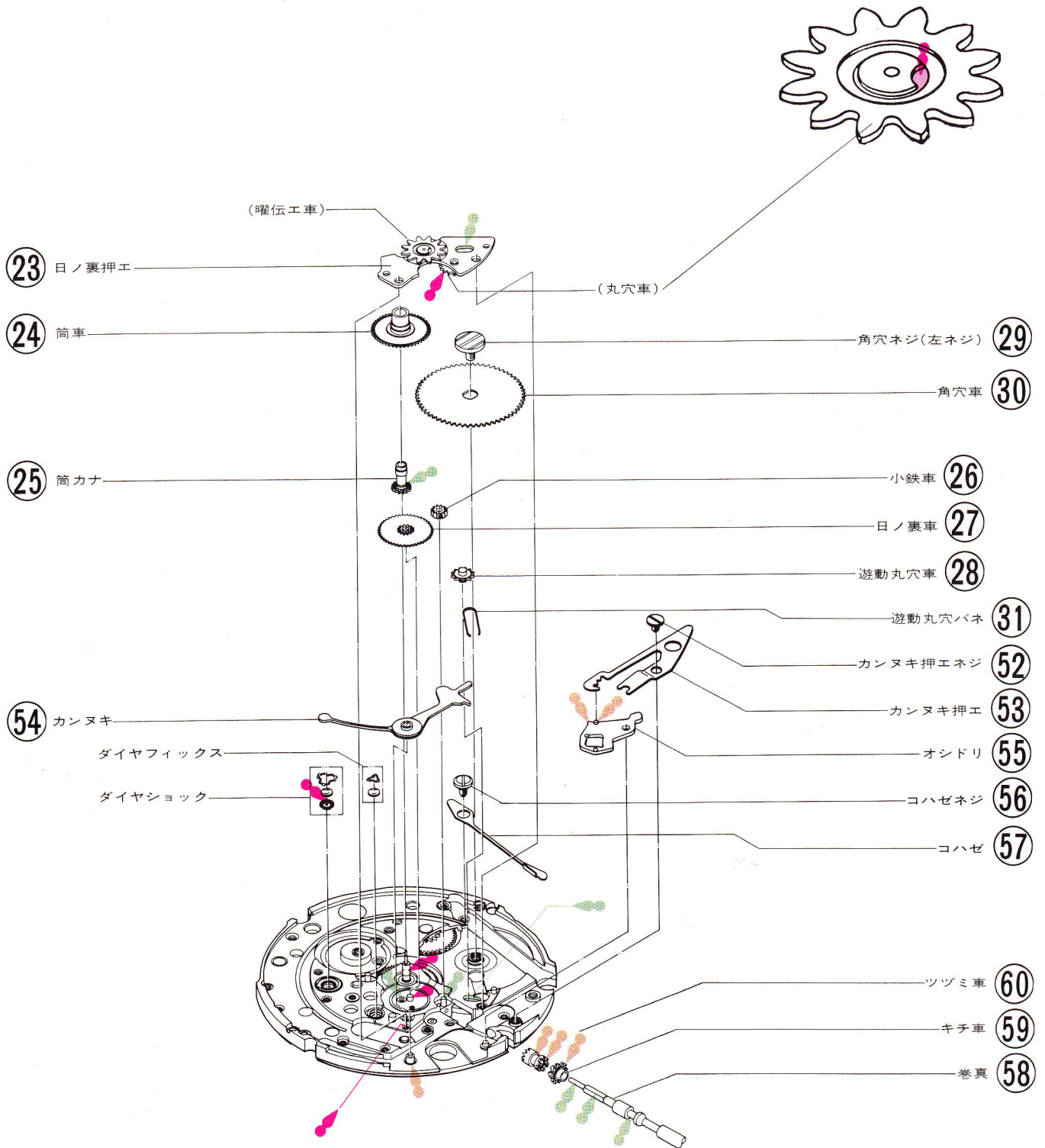


日・曜送り時刻中の日・曜早修正について

日送ツメ (または曜送ツメ) の先端が日車の歯の間にある時に、日の早修正をおこないますと、日の早修正はおこなえませんが、日送ツメによる日送りは、おこなわない事がありますので注意してください。



5216A 切換機構

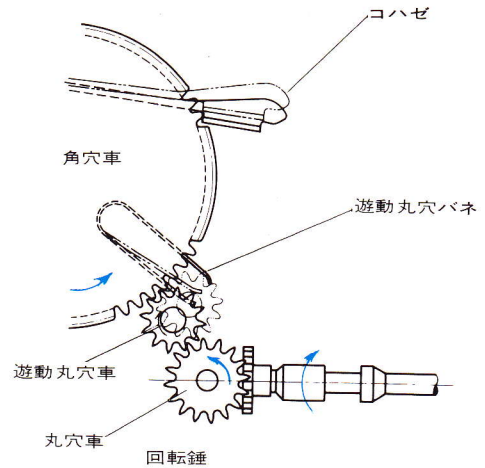


ゼンマイ巻き

・手巻き機構（リュウズ1段目）

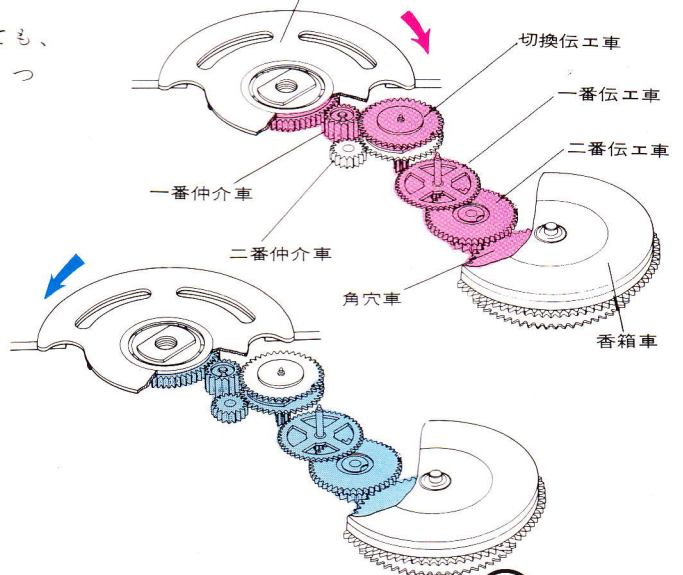
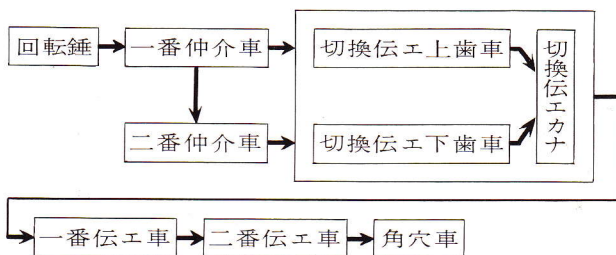
キチ車と丸穴車がかみあっている状態（リュウズ1段目、2段目）で、リュウズを右に回すと図のように遊動丸穴車を仲介して角穴車が回され、ゼンマイが巻けます。リュウズを左に回すと、丸穴車と遊動丸穴車のかみあいがはずれ、ゼンマイは巻かれません。

また通常の自動巻上げの場合も、丸穴車と遊動丸穴車のかみあいがはずれます。



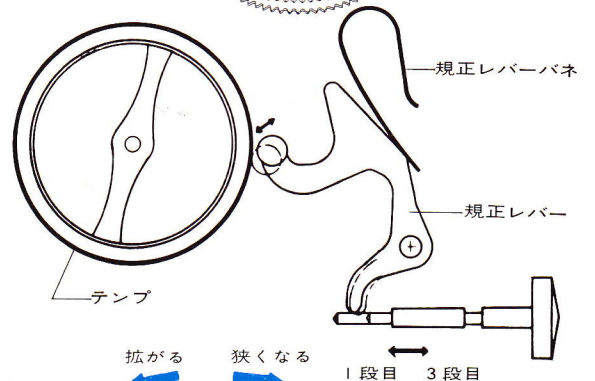
・自動巻機構

自動巻機構は回転錘が左右どちらの方向に回転しても、切換伝エ車の働きによって一定方向の回転となり、つねにゼンマイを巻上げます。



・秒針規正装置

リュウズ3段目に引き出し針回し状態にすると規正レバー先端のピンがテンワを押えて、作動を停止します。



・アオリ調整装置

このアオリ調整レバーを動かすとヒゲ受とヒゲ棒のスキマが変わり、等時性の調整ができます。

等時性の調整は、工場で厳密におこなわれて出荷されますので、テンワを取替える必要の生じた時以外は、アオリ調整レバーを動かさないでください。

